

2011年は こんな年に

あけましておめでとうございます。
みなさまはどんな新年をお迎えでしょうか。
昨年、各方面でご活躍をなさった方々から
平成23年の抱負を語っていただきました。

ゆっくりのんびり 好きなことを

武藤 陽子さん(塚)
全技連マイスター(職種名:和裁)



「平成21年6月に和裁部門で全技連マイスターの試験を受け、9月には認定式に出席させていただきました。秋田県でマイスターに認定されたのは私だけが17人目だそうです。縁あってマイスターに認定していただきましたが、このたびの試験を受ける機会を得ただけでも大変栄誉なことだと思っています。日ごろから、お客さまがあつてこそ自分の仕事がある」ということを信念に仕事を続けてきました。誰かに話したことはありませんでしたが、マイスター試験の講師の方が同じことをおっしゃっていたのを聞き、「同じ考えなんだなあ、間違っていないかったなあ」と思いました。このことがとても印象に残っています。

また、マイスターの認定を受けたことをきっかけに、たくさんの方と知り合うこともできました。会場に向かう電車の中で偶然に知り合った方との交流も続いていて嬉しい限りです。

職人にとって一級技能士資格は大きな目標です。一級技能士を目指したときは、「これからは免許を示すものが必要な時代」だと思ったことも動機の一つですが、自分の腕を試したかったということもありました。当時は家族から全面的に協力してもらいました。家族の助けを得て、頑張つて取ったという思いがあるからこそ、この資格に

自信と誇りを持っています。和裁という仕事は目立たない地味なものかもしれませんが、私も、私は和裁を通じて色んな人との交流の輪を広げ、様々な世界を見ることができました。今年自分の身体を労りながら、ゆっくりのんびり仕事と向き合いたいと思っています。「作りたいな」と思う作品のアイデアがたくさんあるんです。焦らずに、それらを形にしていきたいです。

技能士

職業能力開発促進法で定める技能検定の合格者のこと。

全技連マイスター

社団法人全国技能士会連合会が、実務経験20年以上の特級・1級・単一等級技能士を“マイスター”として認定する制度。優れた技能を有し、若者や後継者にその技を継承することについて高い志をもつ技能士を認定し、ひろく社会的に活動してもらうことを目指しています。

親方のような職人に

高橋 雄大さん(大坂)
千畑建設技能組合所属

(大曲地域職業訓練センター木造建築科卒)



「小さい頃からモノを作るのが好きで、高校を卒業後、現在の会社で就職しました。4月で6年目を迎えます。現在は住宅のリフォーム現場で仕事をしています。昨年は自分にとって大きな出来事が起きた年でした。10月に神奈川県で行われた技能五輪全国大会の建築大工の部に秋田県の代表として出場することができました。大会では小屋組の製作が課題でした。小屋組みとは屋根を支えるために設ける骨組みのことです。与えられた材料と仕様を元に課題を製作するわけですが、作業の中でもっとも気をつけたことが実物の図面(現寸図)の作成です。小屋組みは部材同士を様々な角度で組まなければならぬため、原寸図の作成は、より正確に行わなければいけません。

技能五輪全国大会

建築大工や洋裁、日本料理など40種目で青年技術者の技能レベルを競う全国大会。各県の予選を勝ち抜いた参加者は制限時間内に与えられた課題を製作します。

全県技能競技大会

県建設技能組合連合会が技術継承と人材育成を目的に開催している建築技術を競う大会。2010年の第47回大会には県内の若手技術者31名が参加しました。

※高橋さんと加藤さんは、それぞれ町内の建築会社に勤めています。



また、11月に行われた全県技能競技大会では青年の部で優勝することができました。この大会には「自分の腕を磨きたい、腕を試してみたい」という思いで、就職してから5年連続で参加しています。親方からは「もっといい仕事ができるよう、がんばれ」と厳しくも温かい言葉をもらいました。

二つの大会に参加して、自分の不得意な部分を知ることができたので、普段の仕事に活かしていければと思っています。「一級技能士の資格を取って、親方のような大工を目指したい」。それが今の自分の目標です。そして、たくさんのお客様さまに喜んでもらえる仕事をしていきたいと思っています。」

初心を忘れず

加藤 浩司さん(大仙市)
千畑建設技能組合所属

(大曲地域職業訓練センター建築科卒)

「子どものころ、建築現場で働く大工さんを見て『カッコいい』『自分もやってみよう』と思ったのが、この仕事に就くきっかけです。始めたばかりの頃は、カンナの扱い一つとっても、歯をどのくらい出せばいいのか分からなかったし、上手くできない原因も分かりませんでした。

昨年11月、高橋雄大さんと同じく全県技能競技大会の壮年の部に出場し、優勝することができました。少しづつではありますが、技術が上達してきているのではないかと感じています。職場の先輩方には仕事の合間に練習をさせてもらったり、アドバイスをもらったりしました。とても感謝しています。なんといいっても体が資本の仕事なので、体調管理には十分に気を付け、初心を忘れずに仕事に取り組んでいきたいと思っています。」